



安全データシート

RENEW

SDS改訂日:

2024/9/1

1. 化学品及び会社情報

1.1. 製品名称

製品の名称 リニュー (Renew)

1.2. 会社情報

会社名 (輸入販売) 三洋ライフマテリアル株式会社

住所 〒101-0052

東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル8階

電話番号 03-3518-2151/fax 03-3518-2152

製造元

ComStar International Inc.

住所

20-47 128th St. College Point, NY 11356. USA

電話番号

1-718-445-7900, 800-328-0142/fax 718-353-5998

1.3. 推奨用途及び使用上の制限

液体洗浄剤

2. 危険有害性の要約

2.1. 化学物質または混合物のGHS分類

H301 急性毒性、経口 区分3 飲み込むと有毒

H314 皮膚腐食性/刺激性 区分1B 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

2.2. ラベル要素

セクション11および12に列挙された毒性データを使用して、生成物は、以下のように標識されます。



警告

注意喚起語

危険有害性情報

H301 飲み込むと有毒

H314 皮膚腐食性/刺激性 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

[予防]:

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。

[反応]:

P301+330+331+310: 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。



安全データシート

RENEW

SDS改訂日:

2024/9/1

P303+361+353: 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣服をすべて脱ぐこと。皮膚を水/シャワーで洗うこと。
P304+340+310: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
P305+351+338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は、外すこと。その後も洗浄を続けること。

[保管方法]:

—

[廃棄]:

—

2.3. その他の危険性

この物質/混合物には、残留性、生体蓄積性、毒性(PBT)があると考えられる成分、または0.1%以上で非常に残留性、生体蓄積性(vPvB)が高いと考えられる成分は含まれていません。

3. 組成及び成分情報

単一成分・混合物の区分: 混合物

成分/化学物質の指定	重量%	GHS分類	注意
フッ化水素アンモニウム CAS#: 1341-49-7 化審法番号: (1)-311	<4.0	急性毒性: 区分3; H301 皮膚刺激性: 区分1B H314	

§ 1910.1200の paragraph(i)に従って、組成物の特定の化学的同一性および/または正確なパーセンテージ(濃度)は、企業秘密として保留されています。

4. 応急措置

4.1. 応急処置

一般的な措置

医師の診察を受けること。安全性データシートを医師に見せてください。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移します。呼吸をしていない場合、人工呼吸を行うこと。

医師の診察を受けること。

眼に入った場合

多量の水で15分以上よく洗い流し、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服や靴は直ちに脱ぐこと。石鹼と多量の水で洗い流す。

直ちに被害者を病院に連れて行き、医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。意識がない場合、決して口からものを与えないこと。水で口をすすぐ。

医師の診察を受けること。

4.2. 最も重要な症状および効果(急性および遅発性)

概要

最も重要な既知の症状および効果は、ラベル(2.2項参照)および/または11節を参照。

医師に対する注意事項

データなし



安全データシート

RENEW

SDS改訂日:

2024/9/1

5. 火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤

水噴霧、アルコール耐性フォーム(泡)、粉末化学物質、二酸化炭素。

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険有害性

窒素酸化物(NOx)、フッ化水素

5.3. 消火を行う者への勧告

自給式呼吸器および保護衣を着用すること。

5.4 追加情報

データなし

6. 漏出時の措置

6.1. 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

呼吸用保護具を着用すること。粉塵の発生を避ける。蒸気、ミスト、ガスを吸い込まない。十分な換気を確保する。

職員を安全な場所に避難させる。ほこりを吸い込まない。個人用保護具(セクション8を参照)。

6.2. 環境に対する予防措置

安全な場合、更なる漏れや流出を防ぐ。排水口に製品を流さない。

6.3. 回収、中和等の処置

ほこりを発生させずに、回収し、廃棄する。掃き掃除とシャベルで掃除する。廃棄のために適切な密閉容器に保管する。

6.4. 他のセクションへの言及

廃棄については、セクション13項を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための予防措置

目や皮膚への接触を避ける。粉塵やエアロゾルの生成を避ける。塵埃の発生する場所では適切な排気を行うこと。

予防措置は、セクション2.2項を参照。詳細は第2項-[予防]を参照。

7.2. 混触危険性等、安全な保管条件

冷暗所に保管。容器を密栓し、乾燥し、通気性の良い場所に保管。吸湿性のある場所では、不活性ガス下で保管。

不燃性、急性毒性Cat.3/毒性有害物質または慢性影響を引き起こす有害物質。詳細は、セクション2 [保管]参照。

7.3. 特定の最終用途

セクション1.2で言及された用途以外に、他の特定の用途は規定されていない。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1. 制御パラメータ



安全データシート

RENEW

SDS改訂日:

2024/9/1

曝露

CAS番号	成分	情報源	値
1341-49-7	フッ化水素アンモニウム	OSHA	2mg/m3
		ACGIH	2mg/m3
		NIOSH	2mg/m3
		サプライヤー	確立された制限なし

発がん性データ

CAS番号	成分	情報源	値
1341-49-7	フッ化水素アンモニウム	OSHA	発がん性物質の選択: いいえ
		NTP	既知: いいえ 疑わしい: なし
		IARC	グループ1: いいえ グループ2a: いいえ グループ2b: いいえ グループ3: いいえ グループ4: いいえ;

8.2. 曝露管理

呼吸器の保護具

適切な保護マスクを着用すること。

リスクアセスメントにより、空気清浄マスクが適切であることが示された場合は、エンジニアリング制御のバックアップとして (EN 143) マスクカートリッジを使用します。フルフェイスが空気呼吸器を供給した場合、NIOSH (米国) または GEN (EU) などの適切な政府標準の下で試験され、承認された呼吸用保護具および部品を使用する。

皮膚及び身体の保護具

化学物質に対する完全な防護服は、特定の作業場における危険物質の濃度と量に応じて防護具の種類を選択しなければなりません。

眼/顔の保護具

顔面シールドおよび安全メガネは、NIOSH (米国) または EN 166 (EU) などの適切な政府標準の下で試験され、承認された眼の保護のための機器を使用する。

皮膚の保護具

手袋を着用。手袋は使用前に点検する。本製品への皮膚接触を避けるために、適切に手袋をはずす。(手袋の外面に触れないこと)。関連法規ならびに地方自治体の基準に従って汚染された手袋を廃棄する。

技術的対策

皮膚、目、衣類との接触を避ける。休憩前、および製品を取り扱った直後には、手をよく洗うこと。

環境曝露のコントロール

安全であれば、これ以上の漏れやこぼれがないよう措置を講じる。排水口に製品を流さない。

詳細はセクション2-[予防]を参照。:

9. 物理的及び化学的性質



安全データシート

RENEW

SDS改訂日:

2024/9/1

外観	液体
臭気	データなし
臭気閾値	データなし
pH	4
融点/凝固点	125 ° C / -
初留点と沸点範囲	データなし
引火点	なし
蒸発速度(エーテル=1)	データなし
可燃性(固体、気体)	該当しない
上限/下限、引火または爆発限界	爆発下限界: 135° C (275° F): NA 爆発上限界: 199° C (390° F): NA
蒸気圧(Pa)	NA
蒸気密度	データなし
相対密度	1.500g/cm3
比重	< 2 (H2O = 1)
水への溶解度	可溶性
分配係数n-オクタノール/水(log Kow)	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(cSt)	データなし
揮発分(重量%)	データなし
オクタノール/水分配係数	データなし
9.2.その他の情報	
その他の関連情報はありません。	

10. 安定性及び反応性

10.1. 反応性

データなし

10.2. 化学的安定性

通常的环境下で安定。

10.3. 危険有害反応可能性

データなし。

10.4. 避けるべき条件

水分を避ける。

10.5. 混触危険物質

強酸化性物質

10.6. 危険有害な分解生成物

火災条件下で生成した有害な分解生成物。- 窒素酸化物(NOx)、フッ化水素
その他の分解生成物-火災時のデータなし:第5節参照



安全データシート

RENEW

SDS改訂日:

2024/9/1

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性

データなし (フッ化水素アンモニウム)

皮膚腐食性/刺激性

データなし (フッ化水素アンモニウム)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

データなし (フッ化水素アンモニウム)

呼吸器感作性または皮膚感作性

データなし (フッ化水素アンモニウム)

生殖細胞変異原性

データなし (フッ化水素アンモニウム)

発がん性

IARC: 3 - グループ3 : ヒトに対する発がん性について分類できません (フッ化アンモニウム)

生殖毒性

データなし (フッ化水素アンモニウム)

特定標的臓器毒性-単回暴露

入手できるデータなし (フッ化水素アンモニウム) 特定標的臓器毒性-反復曝露データなし

誤えん有害性

データなし (フッ化水素アンモニウム)

追加情報

RTECS: BQ9200000

*RTECS = Registry of Toxic Effects of Chemical Substances

材料は、粘膜、上気道、眼、皮膚の組織に対して極めて有害であり、咳、息切れ、頭痛、吐き気を引き起こすことがあります。
(フッ化水素アンモニウム)

12. 環境影響情報

12.1. 毒性

本製品に関する追加情報はなし。化学物質固有のデータについてはセクション3を参照のこと。

水生生態毒性

12.2. 残留性および分解性

混合物そのものについて入手できるデータはありません。



安全データシート

RENEW

SDS改訂日:

2024/9/1

12.3. 生体蓄積性

未測定

12.4. 土壤中の移動性

データなし。

12.5. PBTおよびvPvB評価の試験結果

この物質/混合物には、残留性、生体蓄積性、毒性(PBT)があると考えられる成分、または 0.1% 以上で非常に残留性、生体蓄積性(vPvB)が高いと考えられる成分は含まれていません。

12.6.他の有害作用

データなし。

13. 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理方法

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理をする。

13.2. 汚染容器及び包装材料

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこで適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合も都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物業者、もしくは地方公共団体が、その処理を行っている場合には、そこで適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

注記:1リットル未満の液体の容器は、非危険品として出荷される。以下の情報は、1リットルを超える容器に関するものです。

14.1 国連番号1760

ADR/RID: 1760

IMDG: 1760

IATA: 1760

14.2 国連品名

ADR/RID: その他の腐食性物質(液体) (他の危険性を有しないもの)

IMDG: その他の腐食性物質(液体) (他の危険性を有しないもの)

IATA: その他の腐食性物質(液体) (他の危険性を有しないもの)

14.3 輸送時の危険性クラス

ADR/RID: 8

IMDG: 8

IATA: 8

14.4 包装グループ

ADR/RID: II

IMDG: II

IATA: II



安全データシート

RENEW

SDS改訂日:

2024/9/1

14.5 環境有害性

ADR/RID: なし
IMDG海洋汚染物質: なし
IATA: なし

14.6 使用者のための特別予防措置

データなし

15. 適用法令

フッ化水素アンモニウム

労働安全衛生法

: 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条)
: 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2)
: 皮膚等障害化学物質等 (規則 第594条の2 第1項)

水質汚濁防止法

: 有害物質 (法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)

大気汚染防止法

: 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質

土壤汚染対策法

: 第2種特定有害物質

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

: 第1種指定化学物質 政令番号1-414

16. その他の情報

責任の限定について

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

本安全データシートにおけるデータは、ここに規定された製品にのみ関するものですが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関していかなる保証を行うものではなく、またその品質を保証するものでもありません。製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものであります。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要です。この製品が使用される環境及び条件については弊社がコントロールできない為、弊社は購入者又は第三者に対する損傷に対して、又は物的損害に対していかなる責任を負うものではありません。本SDSの改訂版を受領した場合は、旧SDSを廃棄下さるようお願いいたします。